

## 第2次みよし市総合計画策定に伴う地区まちづくり懇談会

会議名	第2次みよし市総合計画策定に伴う地区まちづくり懇談会(西部地区)	
日時	平成29年7月2日(日) 午後2時～3時25分	
場所	三好下公民館	
出席者	<p>(市長)小野田賢治  (政策推進部長)増岡総一郎、(政策推進部参事)佐藤正美、(総務部長)原田清明、  (市民協働部長)柴田修、(福祉部長)小野田朗、(子育て健康部長)近藤正敏、  (環境経済部長)廣戸伸行、(都市建設部長)宇野勉、(教育部長)柴田圭一</p> <p>(事務局)政策推進部 溝口次長  企画政策課 竹内課長、近藤副主幹、三浦主任主査</p> <p>(参加者数)77名</p>	
次第	<p>1 あいさつ(市長)  2 議題  (1)第2次みよし市総合計画の策定について  (2)第2次みよし市総合計画の策定にむけての意見提案  3 あいさつ(お礼のあいさつ・市長)</p>	
会 議 録		
1 あいさつ (市長)		
<p>皆様こんにちは。市長の小野田賢治でございます。本日は公私共にご多用の中、誠にありがとうございます。日頃は本市の行政各般にわたりまして、特別なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。</p> <p>さて、先ほど司会から説明がありましたように、今回は第2次みよし市総合計画、これが31年度スタートであります。平成50年度までの20年間の基本構想を大きく定めまして、基本計画10年間で3ヶ年ごとの実施計画を策定していく大変大掛かりなものでございます。基本的な考え方につきましては、この後パワーポイントを使って説明してまいります。今回の地区まちづくり懇談会において本市そして皆さんが住んでいる地区を将来どのようなまちにしていきたいかを直接皆様方からご意見やご提案をお聞きしまして、総合計画の基本構想と基本計画を作る参考にしたいと、そして皆様方と一緒にまちづくりを進めたいという強い気持ちがございます。ぜひ忌憚のないご意見・ご提言をさせていただきますようお願い申し上げます。簡単ではございますが、あいさつとさせていただきます。ぜひよろしくお願いたします。</p>		
No.	行政区・性別	意見等
1	三好下・男性	<p>先ほどみよし市の強みということで説明いただいた。平成57年まで人口増加ということだが、恐らくこの数字は自然増ではなくて、新たな住宅地の開発、そのような形の考えの数字と思われる。それに伴い、西部地区において新たな宅地とか土地利用の構想を持っているのかお聞かせいただきたい。</p> <p>三好下行政区内においても、田や畑等で新家という形で宅地化が進んでいるので、調整しながらご検討いただきたい。</p>

No.	行政区・性別	意見等
2	福田・男性	<p>みよし市の強みが出ているが、必ずしも私の見解とは合っていない。例えば、自然が豊かであるが、どこが自然で、どこが荒れているのかわかりづらい。コントロールされている里山と放置されている農地とはやはり違うと思う。</p> <p>全国上位の住みよさについては、北の方と我々の地域では、住環境や交通環境が全然違う。一例を挙げると、うちからコミュニティバスが出るところまでは500mある。私が以前、市にいたときに、生涯学習課からサンアートまで行くのに交通機関がなくて不便という話があった。北と南の認識の違い、北の便利さと南の便利さが全然違うということをまず、市の幹部の方にしっかり分かっていたいただきたい。もっと南の地区を歩いていただきたいと思う。</p> <p>最近、耕作放棄地が多く、非常に畑が荒れている。キツネにトウモロコシを食べられるという被害もあった。</p> <p>地区で考える部分もあると思うが、市でイニシアティブを取って考えていただける部分があるとありがたい。</p> <p>交通の利便性はひどいと思う。私はいつも揶揄して言うのだが、普通は大都市に向かって車が走り、帰りは大都市から住宅地に帰っていくはずだが、みよしの場合、名古屋市から豊田市に向かって大渋滞が起こる。帰りは豊田市から名古屋市に向かって大渋滞が起こる。福田の辺りでは、橋が混雑するため、あちこちの抜け道で、農道や通学路まで車が走る状況になっている。これはみよし市でなく、愛知県全体の交通のことである。地下鉄を延伸するなど、公共交通機関をもう少し考えていかなければならない。北の方は電車が通っているが、この辺りでは子どもたちが危なくてしょうがない。一度、朝来てもらうと分かる。これは理由が分かっているので、市独自ではなく、県に対してもしっかりとお願いしたい。</p> <p>子どもたちが通りやすいように、県道の歩道左右を近所の方にも手伝っていただきながら草刈りをしている。県土木に頼んでも刈るだけなので、すぐに草が生える。歩道の中に草が生えると、子どもが車道に出てしまう。昔はおらが道、おらが村ということで、自助できれいにしたが、最近はそういうことがないように思う。昔は地域の教育力があつた。支え合うなら、そういうことを市の方から地域住民に訴えかけてほしい。税金を納めているので行政がやればよいという意見もあるかもしれないが、なかなか余分な税金はないはずなので、いかにして地域住民が自分たちの暮らしを高めることができるかが大切である。</p>
3	三好下・男性	<p>愛知県は平成22年度に健康寿命が1位だったが、今は12位である。静岡県が1位で、静岡県は県を挙げて取り組んでいる。シニア版「ふじ33プログラム」というものである。社会参加を促すなどの健康寿命を延ばすプログラムを組んで大々的にホームページに出している。</p> <p>交通網について、将来、免許を返納することになるが、タクシーは費用がかかるため、さんさんバスに乗るしかない。歳を取ったときには、老人憩いの家に集まりたくなると思う。さんさんバスとは言わないが、市内を巡回するバスを計画してもらえたら、我々の足となり、市内を動けるようになる。人が動けばお金も動き、地域も活性化する。高齢者を動かし、健康寿命を維持するためには、家から出さないといけない。そのためには足の確保が必要である。静岡県に倣うわけではないが、愛知県の中で、みよし市が率先して健康寿命を延ばすための取り組みをアピールする必要がある。住みよいまちであることが世間に知られば、必然的に人が集まる。人が集まれば、財政も豊かになり、施設もできる。家の中に眠っている高齢者をまず外に出してほしい。</p> <p>老人憩いの家には屋根もトイレもあり、人も集まる。バスに乗らなくてもここに来れば人と話ができる。高齢社会に向け、市が中心になって対策を考えていただきたい。ただし、地区のお年寄りを交えた中で、どうしてほしいかという意見を皆さんに聞いてもらった上で、対策をしてほしい。</p>
4	三好下・男性	<p>高齢化社会ということで、これからの高齢者の施設について要望させていただく。行政の方も即答できないと思うが、市内には「みよしの里」などの施設があるが、現状で空いているのか。それとも入れなくて困っている人がいるのか。もし入れなくて困っている方がいるなら、今後、三好下地区にそういった施設を造ってほしい。また、手頃な値段で入れるのかどうか。年金で入れるようにしないと、お金のある人しか入れないという状況になると思う。一般の収入の方でも入れるような施設を造っていただきたい。</p>

No.	行政区・性別	意見等
5	西一色・男性	<p>福田地区に貯水池が完成した。次に西一色に貯水池ができる計画があるが、それが何年後なのかははっきりしない。早く進めていただきたい。</p> <p>毎年、水防訓練を境川で行っている。西一色では排水路の清掃を年2回やっている。排水路の中の土砂や砂、藻、缶やプラスチックなどのゴミの清掃を行うが、それらの処理に困っている。大量に出る。藻がくっついてしまい、スコップを使ってもなかなかとれない。西一色の上流から緑地公園、西一色橋までの間の排水路の掃除をしていただきたい。、平成12年の東海豪雨のときに、床下浸水の被害に遭い、今回貯水池を造ったわけだが、排水路に土砂が入ったり、藻が入る。結局、水の流れが悪くなり、オーバーフローして、低い土地に水が流れてしまう。みよし市の強みの中に「自然が豊か」と書かれている。そういうところも自然と言うならば、排水路をもう少しきれいにしてほしい。高齢化が進んでおり、西一色だけでは対応できない。</p>
6	福田・男性	<p>今一番心配していることが2つある。</p> <p>1点目は、農地を持っており、畑をどうするかということである。耕作放棄地の貸し手と担い手という話が先ほど出たが、そういう話を市の産業課にしたときに具体的な話にはならなかった。</p> <p>2点目は、福田は市街化調整区域だが、私が生まれて71年間で非常に良くなったことは1つだけである。それは約50年前の田んぼの区画整理のみである。それ以降は、何があったかということほとんど知らない。</p> <p>私は畑を何とかしようと思い、個人的に病院の誘致を試しにやってみた。ところが、愛知県の条例で、市街化調整区域には病院を造ることができないため、実現できなかった。その状況を変えるのは非常に難しいようである。残念ながら市には何もしていただくことはできなかった。福田の市街化調整区域の中で、まちなかの規制と、バイパスの東側の田んぼの規制の仕方をもっと少し考えていただき、民間事業者や各個人がもう少し発展できるように、規制を緩めたり、きつくするということをしてほしい。あまりにも話しが大きすぎるので、意見を聞いてもらうだけでよい。</p>
7	三好下・男性	<p>高齢者に優しい行政をよろしくお願ひしたい。</p> <p>みよし市全体が底上げして、みよし力をアップさせるには、総合計画は10年先、20年先のもので、やはり今の中学生なら35歳、小学生が30歳になったときに、みよしが良いと感じられる、そして、みよしに住みたいと思えるような教育や施策をお願ひしたい。</p> <p>なかよし、みなよし、きたよしの3地区の構想があるが、ここには「人」に関するものが何もない。忘れられているということはないと思うが、やはり全体の力を上げるためには、人格面など、みよしの人たちは違うというような教育や施策ができれば、素晴らしいみよしになるのではないかな。</p>
8	福田・男性	<p>福田の子ども会など色々やっているが、なぜやっているかという、子どもがみよしに住んで良かった、みよしの子どもで良かったと言ってほしいからである。だからそのまま住んでほしい。</p> <p>福田でそうめん流しをやったり、餅つきをやったりするのは準備が大変である。子育てクラブのお母さんたちも大変だが、福田に住んでいて良かったとか、こういうことができると思ってもらえるよう、そういう気持ちでやっている。だから、みよしの子どもたちが勉強ができて、東京の大学に行って東京の良い会社に入るのではなく、地元のために住んでくれる子たちがほしい。国のために働いてくれるのも良いが、地元のために住んでくれるようなビジョンを持ってまちづくりをしていただきたいと思う。</p>

No.	行政区・性別	意見等
9	三好下・男性	<p>資料p.8の市の強みの中に「安定した市の財政基盤」とある。自主財源率83.1%で高いということだが、固定資産税、都市計画税、個人の市民税と法人市民税ということだと思うが、法人市民税が見直されて今年から適用となったが、みよしでは単年度で15億円ぐらい減るという記事を見た。これまで豊かだったみよしは、減収分だけ豊かでなくなるということだと思うが、このことを踏まえてどういった財政見通しを立てているのか。そうした中で第2次総合計画を作られようとしているのか。あれもこれもといっても総花的にははできないと思う。</p> <p>みよしは昭和40年代に市街化、45年に線引きをしてスタートしている。40年代に市街化区域に編入されて、愛知用水はそのエリアには手を出さずに、放置されたままの土地が三好下には1万2,000㎡ほどある。そこはなぜ市街化区域の中に入っているかという、道路の一本反対側まで既存集落がびっしりある。その隣接地区ということで、市街化区域になっており、今後優良な住宅地として整備していくという形になっており、昭和40年代から都市計画税を払っている。</p> <p>行わなければならないことは実は放置されたままという状況もあると思う。一つ一つ検証しないと忘れられてしまう。三好下に荒畑という地区があり、住宅地図を見るとまさに奈良地方の古墳のように見える。周りが住宅で、真ん中だけ緑で、手付かずにになっている。住宅開発ばかりが手ではないと思う。これだけ住宅があるので、都市公園が乏しいので、防災公園というのはどうか。防災公園の整備については、宝くじの補助金が活用できる。新しいものを次から次へと積み上げるだけでなく、忘れ去られた事業もきちんとやってほしい。忘れられた地区があることを含めた取り組みを改めてぜひ強くお願いしたい。</p>
10	不明・男性	<p>みよし市の強みのところに、市民と中学生のアンケート結果から、「地域のコミュニケーションが高い」となっている。これは分かるが、弱みのところに「行政対応力の低さ」が挙がっている。中学生がそう思っていること自体が行政としてどうかと思う。弱みを強みに変えることが大事である。現行計画の基本目標の一つに「人育て」という項目が入っているのでしっかりとやっていただきたい。</p>
11	西一色・男性	<p>西一色に3年前に新しい住宅地ができた。今日、新興住宅地に住む若い子たちがドッジボールをする姿を見ていいなと思った。最近は1年生が増えてきている。また、今年か来年あたりに11棟程度できる予定である。これから一色に少しずつ明るい未来ができてくると感じている。先ほど意見の出ていた境川の排水路の対応についてはぜひお願いしたい。</p>